

	① 千代田ゲートウェイ	② ビジネスを発想するセカンドオフィス	③ 区民の書斎
評価	c	b	b
A 委員	<p>情報発信力について、課題を感じます。評議会でも、「アウトリーチの戦略」というワードが出ましたが、そこが弱いように感じます。</p> <p>解決策として、</p> <p>①メールマガジンでの配信者数の増加と配信内容の充実</p> <p>②YouTubeでの情報発信</p> <p>③区内の学校や商業施設でのイベントの企画・実施 を進めてみるのはいかがでしょうか？</p> <p>具体的には、</p> <p>①メールマガジンでの配信者数の増加と配信内容の充実について</p> <p>→メールマガジンの登録用のフォームを作成し、新規登録者にはQRコードを渡す等してそこに登録していく</p> <p>→既存のユーザーにはHPのお知らせや区のお知らせ、館内の掲示等で登録を促す。登録キャンペーン（登録すると何かもらえる）等あっても良いかもしれません。</p> <p>私も今回、利用者のマイページをいろいろと触って気づきましたが、予約本に関するお知らせ（WEB図書館も連携？）や返却期限を知らせてくれるなどの機能があるようなので、そちらをもっと皆が活用できるよう認知を広めていく良いと思います。そうすることで、暮らしの中に図書館が密接し、寄り添い、利用促進につながるのではないかと考えます。</p> <p>②YouTubeでの情報発信について</p> <p>→千代田区立図書館公式チャンネル拝見しました</p> <p>(<a href="https://www.youtube.com/@library.chiyoda">https://www.youtube.com/@library.chiyoda</a>)</p> <p>昨年開始されたのでしょうか？5月端午の節句の動画等、きちんと編集されていて良いと思います。</p> <p>情報発信（告知）に特化しているようですが、まだ登録者数は20人とかなり少ない数字です。</p> <p>こちらに、常設展示の様子や図書館ツアー等、月1回のペースで何かしらネタになるものをUPしていく試みとその情報発信を進めてみるのはいかがでしょうか。</p> <p>③区内の学校や商業施設でのイベントの企画・実施について</p> <p>→こちらは評議会でも野口先生より提案があったかと思いますが、私も賛成です。</p> <p>話に挙がった「千代田WEB図書館の体験会」の他にも、中高生との「意見交換会」というイベントがあっても良いと思いました。</p>	<p>4の評価にも記載がある通り、ビジネスマンはデスクトップPCからノートPCに移行してきていますので電源付きデスクは「セカンドオフィス」の働きには必須かと思います。仕事や滞在型を推進していくのであれば、1階や地下1階のカフェも電源付きが望ましいと思います。</p> <p>もう一步踏み込んだ「次世代のセカンドオフィス」へ向けて、</p> <p>①利用者同士のコミュニケーションの場を創出する</p> <p>②省庁の動き・政策など新聞で取り上げられるような内容を深めるための図書の展示・紹介を進めることをご提案できないかと思います。</p> <p>①利用者同士のコミュニケーションの場を創出する</p> <p>→「モーニングセミナー」に近いものがあるかもしれませんが、日比谷図書文化館の特別研究室などを利用して、シェアオフィス（コミュニケーションスペース）的な使い方をするのはいかがでしょうか？</p> <p>各利用者を登録制にし、企業名を出す等して各々のコミュニケーションを創出したり、勉強会を図書館が主催して、人脈作り貢献するなど。</p> <p>千代田区という一流企業が集まるフィールドで、公共施設でそういった取り組みをすれば意識の高い方は参加したいと思うのではないかと思います。</p> <p>②省庁の動き・政策など新聞で取り上げられるような内容を深めるための図書の展示・紹介</p> <p>→日比谷図書文化館の企画展示への取り組みは素晴らしいと思います。頻繁に書架に動きを作り、「セカンドオフィス」にふさわしく、毎日いる方も日々発見のある、素敵な書架をつくっていらっしゃると感じました。</p> <p>しかし、すべての展示タイトルを拝見したわけではありませんが、日比谷図書文化館の柱に「ビジネス」とあるのであれば、オレンジゾーンの展示棚はもう少し最新の世間の動きを反映した展示のつくりを期待したいです。</p>	<p>まずはこちらのコンセプトの全体的なことに関して、日比谷図書文化館のことになってしまいますが、資料の収集・管理に関して、雑誌の3年保存や図書の除籍・受入について「ビジネス」「アート」「地域情報」の柱を元に進めていってほしいとのこと、賛同できますし、指定管理者の方が新しい出版物を実際に書店に足を運んで決めていってほしいとのこと、とても熱心に対応してくださっていて好感を持ってました。「区民の図書館」として、きちんと機能しているように感じます。また、書架がエリア別に色分けされており、なんとなくイメージでピンとくるので、分かりやすく、誰でも親しみやすいアイデアで良いと思いました。</p> <p>千代田図書館は、夜遅くまで開館しており、広い層の区民のニーズに対応していると思います。図書館年報を拝見すると、蔵書の内容や書架の配置に関して改善してほしい意見が目立つように感じました。私の地元の市立図書館では、子どもから大人まで、「司書さんセレクトの本セット」というのが書架に点在して置かれていました。とても好評で、セットのバックが棚にないこともあるようでした。子ども用は透明なバックに5冊程度入っており、「子どもに読ませたいけど選ぶのが面倒」、「読みたいけど失敗したくない」といった、あらゆる年代のあらゆるニーズを叶える取り組みで良いと思いました。</p> <p>5に関して、図書館のサイトにも言えることなのですが、千代田WEB図書館について、借りた図書を返却後も確認できるようにしていただけないでしょうか。千代田WEB図書館を利用した際に、予約図書が知らない間に借りられ、知らない間に返却され、「あれ、何の本を借りたんだっけ？」となったことがありました。管理できなかった自分の落ち度もありますが、働きながらですとそこまで管理しきれず、通知機能と合わせて改善していただきたいポイントです。</p> <p>また、今後の図書館評議会のテーマとして、「利用者数を伸ばしたい」のか、「利用者の利用を促進したい（図書の貸出数を伸ばしたい）」のか、「利用者満足度を上げたい」のか、あるいは別の目的があるのか、目標を明確にする必要があるのではないかと思います。では令和5年度はこれ为目标に議論しよう、等、年度ごとに変えても良いと思います。</p>
評価	b	b	b
B 委員	<p>1～3は、千代田区立図書館の情報発信（メディアカバレッジも含め）を数値で評価しているものだと思いますが、自分たちが誰に大してどんなメッセージを出し、それをきちんと受け止めてもらえていて、アクションにつながっているのか（図書館に来館、イベント参加など）の循環が見えないです。KPIだけではなく、Objectives and Key Results(OKR)あるいはKGI・KPIを設定してはどうでしょうか？あるいは、KPIも行動目標、露出目標、成果目標などにわけて管理をすることで、どこがどううまく行っていて、結果につながっているのかが見えると思います。</p>	<p>滞在型の図書館を目指すのであれば、セカンドオフィスだけではなく、子どもの第三の居場所、みらいの図書館、あるいは、シニア向けのサービス、外国人向けのサービスなどのようなコンセプトも導入してはどうでしょうか？ 図書館の利用というのは、ライフステージの切り替わりの際にスムーズにそこを居場所として活用できている人がどうかで利用されるかどうかが変わってきます。子どものころから図書館を利用している子は、大人になっても図書館を使うでしょう。</p> <p>また、セカンドオフィスといった場合、最近はコワーキングスペースも増えてきています。そこを差別化するポイントは何かを考えて、図書館らしいサービスを提供することも大切だと思います。</p>	<p>区民のライフステージに沿って、どんな図書館の使い方をしてほしいのか、というのをまず明確にしてはどうでしょうか？</p> <p>中高生がうるさいという声があるのであれば、中高生のスペースを確保するとか、優先する時間を作るとか考えられると思います。小学生は、学童に入れなかった子や、ちょっとした安全な子どもの場所としての図書館というのもあると思います。シニアな人に対しては、暑い夏、光熱費もあがる中、涼しく安全に過ごせる場所としての図書館もあるかもしれません。</p> <p>どのように使ってほしいのか、そして、それに「本」をどう絡めていくのか。それが、区民の書斎としての図書館のありようになると思います。現在の指標が、区民それぞれのセグメントに対して適切なものか、再度検討してみたいかがでしょうか。</p>
評価	a	a	a
C 委員	<p>十分な取り組みをしていると思います。HPでのブログ更新やお知らせの配信も最新情報を適宜発信し続けることは容易ではないことと思いますが継続されていることが重要だと思います。メルマガやブログ等はユーザー側は自分の都合で見たり見なかったりができますので過年度比で若干減があったとしても到達していると評価します。なお、千代田区は大きな図書館であり、在住以外にも社会人や学習者が利用し、ここに来ればあらゆる情報が手に入り、最新の情報が必ずあるだろうという期待感が大きいので、それもシビアではあるかと思いますがSNSサービスは継続してください。来館でのイベントや展示なども利用者を楽しませ興味を引き立てているかと思います。貴重な資料や、普段あまり使われていないけれども専門性のあるものなどを展示することで、目に触れた利用者の視野が広がる取り組みがされていると思います。今後も継続を期待します。ただし、SNS上のものも来館型のもの、これ以上広げるのは負荷が大きく担当者の負担増なるのではという心配もあります。利用者のニーズに沿うのも大事ですが図書館員の皆さんの心身の健康があって、健康な「気」を保った図書館が維持されるのが良いと思います。</p>	<p>ビジネスを主題とした取り組みは千代田区図書館には必須だと思います。図書館だけにとどまらず、「ブックピネガー」との連携で広報されていることも強みかと思います。千代田区に在勤している利用者や学生の就職活動などにも役立つのではないのでしょうか。日比谷カレッジ企画も実施回数は妥当な回数ではないでしょうか。コロナ禍以前の回数へは地道に戻せばよいかと思います。回数よりも満足度が過年度比100%を超えていることを評価すべきだと思います。DB利用件数は滞在件数とも関連していると思いますが、令和4年度としては十分に伸びていると考えられ、満足度を重視してよいと思います。全体評価として「a」と評価できると思います。</p>	<p>全体としてほぼ過年度比100%を超えている、ないしそれ以外でも高い比率となっています。在学、在勤、一般利用者は令和4年度としては相応な件数かと思います。そうであっても、利用者の満足度は高く、利用者が望む資料をすべて揃えられないかもしれないですが、ニーズに答えようとして取り組んだ結果かと思います。Web図書館は、電子化されている図書はまだ限られているという印象があり、これは大学図書館でも同じ状況で、もっと電子化してほしいタイプの図書はなかなか電子化されていない現状もあると思います。一方で、貸出件数を見ると、ニーズは十分にあるということがわかり、いつでもどこでも本を借りてすぐに読むことができることや、期限がくると自動的にアクセスできなくなるので、延滞の心配もなく利用者にとっては便利な機能といえます。ナクソス配信サービスも存在を知ること、また操作が簡単に行えることも利用者の認知が広がったことに関連するのではないかと思います。</p>

	④ クリエイトする書庫	⑤ ファミリーフィールド	⑥ 管理運営等
評価	b	b	a
A 委員	<p>特別研究室のデジタル化や認知度の向上、貴重な資料の活用が課題というお話が小出館長からありました。</p> <p>ネックになっている部分は何なのでしょう？ 人材不足？ 予算？ 貴重な図書ということであれば、まずは少しずつデジタル化に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>資料の重要性が認められず予算がつかない、まずはその重要性の認知から、ということでしたら、保存と同時に何かアイデア・イノベーションが必要なかと思えます。とはいえ、モーニングセミナーや特別展示室付近の展示など、工夫が見られます。現在取り組んでいただいているように、その時々で話題に挙がるものを展示・その告知で認知を広めていきつつ、デジタル化を進めていく形が良いのではないのでしょうか。</p> <p>「①千代田ゲートウェイ」の評価で触れたように、要はしていることの情報発信をもう少し工夫することで、図書館で取り組まれていることの全体の評価はぐっと上がるように思います。</p>	<p>千代田区という地域柄かもしれませんが、児童書に関しての充実度は武井委員がおっしゃるように、低いように感じます。私が小さいときに読んで面白かった絵本を探そうと思うと、古い絵本なので蔵書されていなかったり、シリーズものが全部読めなかったりします。</p> <p>しかし、蔵書を充実させるということよりも、昌平・神田・四番町・パークサイドと、生活圏の近くに小さいながらも図書館が点在して、身近に通えるという環境をPRし、区民のファミリー層にとって利用しやすい図書館づくりを進めることが大切ないように感じます。</p> <p>小さくても良いので、くじ引きで出た本を貸し出す・謎解きなど、ちょっとした楽しみを子どもたちと与えて、「図書館は楽しいところ、いつ行っても何か発見のあるところ」という認知を広めることが大切ではないかと思えます。</p> <p>蔵書に関しては、都内の図書館からの貸出申込みもできるとの事。利用したことはありませんが、そういった横のつながりで希望の資料にたどり着けるのであれば、蔵書を充実することよりも、サービスや「わくわく」の創出をまずは課題として取り組んでみるのはいかがでしょうか？</p> <p>1の環境整備に関して、区内の児童施設へのリサイクル本の資料数確保が難しいという状況の記載がありましたが、区内の家庭からリサイクル本を募集するのはいかがでしょうか？ 我が家にも、赤ちゃん用の絵本をどうしようという悩みが生じつつあります。図書館で募集し、各保育園等へ贈っていただけるととても助かります。また、区立の保育園や小学校では図書館のお知らせのチラシ等を配布しているのでしょうか？ 区立の保育園へ通っていますが、お知らせを入れるポケットが各園児毎にあるので、そこに図書館からのお知らせを入れていただくことで、普段図書館に通わない親御さんにもお知らせすることが出来ると思えます。</p> <p>3のおはなし会の実施ですが、四番町の毎週土曜日開催を、他の図書館（昌平や神田）にも広めていただきたいと思います。もちろんファミリー世帯が多くいますので、身近なところで毎週開催されているとなれば、空いている休日にフラッと行けるので親としてはとても嬉しいです。また、開催時間が11時～ですが、11時は小さな子供のいる世帯はお昼ご飯を食べている、あるいは準備している時間だと思えますので、10時～や夕方16時～などに変更していただくと利用者も増えるのではないかと思います。</p> <p>図書館は、子どもが初めて触れる公共施設であり、そこから社会性も育まれると思えます。小学生に対して、小学校の取り組みとは別に「図書館に足を運ぶ」、「書架をみて自分で本を選ぶ」ということの推進を図書館として進めていくことが必要ではないかと思えます。</p> <p>すぐには難しいかもしれませんが、例えば、忙しい親にも貸出を行えるように夕方5時～6時の時間帯等に移動図書館で保育園・小学校を1週間に1回回るなどもあるといいと感じました</p>	<p>利用者及び、資料に対してとても真摯に管理運営されていると感じました。</p> <p>利用者からの声にも都度できることには応え、常に改善させようという気持ちを感じられて好感が持てます。</p> <p>利用者の属性や統計をとり、データ化することで見えてくることも多々あるかと思えますので、今後はそういった分析についても取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>人材育成に関して、②セカンドオフィスにも関連するところで、日比谷図書文化館に関しては図書館学以外のところ、「ビジネスや世界情勢のいま」等についても外部講師を招き、教育する機会があっても良いのではないかと思います。利用者のニーズも高まってきて、「自動化・AI化できる」と「人が対応すべき」と境界が徐々に見えてきているのではないかと思います。「人が対応すべき」のサービス内容を充実させることも今後の図書館の在り方として求められることではないかと感じました。</p>
評価	b	b	b
B 委員	<p>千代田区が持っている書籍は素晴らしいものが多く、これらをどのように研究者の方や一般市民の興味を喚起するかが大切なのだと思います。素晴らしいものがあるというのを広く区民に知ってもらうことも大切ですね。</p>	<p>他のところでも書きましたが、ライフステージ毎にどのように図書館を活用するかというのを考えた上で、いろいろな使い方があるというのをPRしていく必要があると思えます。図書館からアウトリーチできないのであれば、それぞれのセグメントからアンバサダーを募集して、SNS等に投稿してもらったり、図書館のイベントに優先的に参加してもらうなどの方法もあると思えます。</p> <p>区内には多くの病院もあります。病院の図書室はたいしたものがないので、そういうところとの交流なども考えられるかもしれません。</p> <p>子どもの不読率は懸念しています。小学校は学校にお任せではなく、学校と共に図書館も使ってもらえるようになるといいと思います。</p>	<p>職員対応の満足率は素晴らしいです。合理的配慮件数など今後も求められていく領域だと思いますが、こうして取り組んでいることは素晴らしいと思います。</p>
評価	a	b	a
C 委員	<p>日比谷図書館で貴重資料を、誰でも手にとって閲覧できるようにしていることは大変良いと思います。そこには管理する場所と人材が確保されており、適切な運営がされていると思います。多くの図書館（大学図書館も然り）は貴重書庫に保存し、一定条件のもと出納して利用者の閲覧に供したり複写を提供するなどに対応しますが、日比谷図書館のような取り組みは利用者にとって、思いもよらないお宝を見ることができ、興味や知識を広げることにも大変役にたっており、利用者としても今後も継続してほしい取り組みだと思います。そのための人材、保存環境は必要な経費をかけて維持頂きたいと思えます。全体の利用件数は、過年度には届かない比率ですが、令和4年度であれば相応の件数だと思われ、他の評価項目と同様満足度が100%を超えていることから、内容が評価されるので評価「a」としました。</p>	<p>全体的に高評価と言えますが、小中学生の不読率が増えたため敢えてbとしました。これは実施状況内にも書かれていますが、千代田区だけでなく社会全体の傾向かと思えますが、社会全体で改善すべき課題かと思いました。コロナ禍で自宅で過ごすことが多くなり、読書の時間に充てられるものと考えましたが、オンライン授業が推進され何でもインターネット上で可能になってしまい、活字を読む習慣が無くなり、また資料検索ではなくSNSで簡単に情報を得ることができるようになり、ますます読書離れになる傾向かと思えます。学校とも連携しての取組をされているので、今後の改善に期待できると感じています。できるだけ電子ブックではなく紙の図書に親しむ取組を今後も継続して頂きたいと思えます。年報の第三章調査結果には、本を読まない理由として「読みたい本がないから」「遊びたいから」とありました。世の中にどんな本がでてくるのか、情報があすぎてわからないことも考えられます。また、図書館にも蔵書が沢山あるのに、探し方がわからない等で壁になる場合もあると思えます。図書館は遊ぶ場所ではないが、図書館が楽しいところという印象、心地よいところという印象があると良いと思えます。実施している企画・イベントはそのきっかけになると思えます。学童保育を終了した高学年の子どもたちが、熟や習い事だけではなく図書館で安心して時間を過ごせるようになると良いのではないかともしました。なお、イベント参加率を見ていると徐々に増えてきており、千代田区は区外からの利用者も多く、遠くからも足を運び参加されるので内容としても充実していると思えますので、是非継続して頂きたいと思えます。また、これまで子どもの「不読率」という統計があることを知りませんでした。重要な統計であると思いました。</p>	<p>入館者数は、令和4年度としては妥当な数値と言えらると思えます。千代田図書館は在勤在学の利用者も多く、令和4年度はまだ感染予防を基準としている企業等や、社会人はテレワークやなるべく早い帰宅をする等の状況であったと思えます。但し、そうであっても前年度より100%を超えておりまた新規登録者が元年度比で7割を超えているので順調に回復している兆しと見えます。職員対応満足度も高く、困難な状況でも利用者ニーズに応える努力がされてきたということが評価できると思えます。</p>

	① 千代田ゲートウェイ	② ビジネスを発想するセカンドオフィス	③ 区民の書齋
評価	b	b	b
D委員	図書館ということでアナログ的な媒体とデジタル化という部分のバランスが難しいところだと思うが、適切に対応できていると感じる。	本館のみを見ているとビジネスとの関連が今一つと感じていたが、日比谷を見学し、さらには資料からもビジネスユーザーの需要に応えていると感じる。	利用者満足度を見るに十分適切と感じます。区民の目で見ても開架の蔵書は、とても魅力的と感じます。
評価	b	b	b
E委員	新型コロナウイルス感染症が5類になったこと、各種イベント等の実施や外部との連携が可能となったことにより、各種情報発信やニュースリリースの発信等、積極的に行えたことは評価できると考えます。さらに、Facebook・Twitter・LINE・YouTubeでの情報発信の促進等、時代に即したメディア発信への取り組みが評価できます。これらの取組をさらに改善等しながら、メディアへの露出件数やホームページへのアクセス数等のさらなる増加を期待しております。	日比谷のデータベース利用件数が回復傾向にあることが評価できると考えます。また、データベース利用満足度も高い数値で推移しており、利用者の方々の満足度の高さが評価できます。また、ビジネス関連資料の満足度等も高い数値で推移しておりますので、「セカンドオフィス」としての活用のしやすさも評価できる点であると考えます。今後も利用者等のニーズを的確に把握し、より利用しやすい環境整備等を続けていただきたいと思います。	区民の方々への予約数の上限を5冊から10冊に拡大し、より使いやすい環境作りに関与できた点が評価できると考えます。また、「利用者満足度」や「蔵書満足度」も高い数値で推移しており、各図書館の使いやすさ等が伺えます。新型コロナウイルス感染症により、在学、在勤、一般の利用者数が減少しましたが、区民の方々の登録率は高く、図書館の今後の利用拡大等を期待しております。
評価	b	b	b
F委員	1. 配信回数が3年度実績と同程度を維持出来ているために、ホームページやちよびたブログのアクセス回数が伸びており、良かったと思います。SNSでの情報発信では特に千代田での数値が3年度同程度の回数を記録していますが、アクセス回数など、閲覧者の反応についても測れるようにしてほしいです。 2. 3. 計画通りで良いと思います。 4. 企画展示資料の貸出数が大幅に増加したことから、企画展示の内容が高評価だったことがうかがえます。 5. 区内大学と博物館等との連携は拡大していますが、地域産業との連携企画数が減っているのは残念です。全古書店を2巡したとありますが、地域の産業は古書店だけではないと思います。新たな連携企画を考えていただき、地域の産業の発展、地元企業の発展につなげてほしいと思います。	1. ビジネス関連資料の満足度で、千代田が横ばいのなか日比谷の満足度が上がっている理由は何だったのでしょうか？ 利用者の満足度アンケートが92.9%というのは、素晴らしいです。 2. 日比谷カレッジの満足度が、ここ数年90%以上を維持できているということは、企画の選定とその内容が高評価されているという証です。 3. 数値はすべてが横ばいという実績となっています。利用者も限定されているかもしれませんが、より多くの人に利用してもらえるような仕掛けがあると良いと思います。 4. 利用件数は、元年度に比べるとまだ少なく回復基調ですが、ご報告の通り閲覧机への電源設置は必須です。最近のオフィスでは、大型のモバイルバッテリーを社内で貸出しフリーアドレスに対応している例もあります。床からの電源工事や机へのコンセント設置作業が不要で、いざという時の非常用電源の確保にもつながります。 5. 貸室稼働率の下落は、コロナが原因の一つではありますが、それだけではないようにも思えます。人を呼び込む新たな工夫、魅力が必要だと考えます。	1. 利用者満足度が5館全部で90%を超えることで、素晴らしいです。千代田の蔵書満足度が90%から下がったのは選書の影響でしょうか？日比谷の蔵書満足度が上がった理由は何でしょうか？ 2. 中高生の利用満足度が90%を割ってしまったのは、どういう理由があるとお考えでしょうか？ 3. レファレンス・読書相談件数が全体として下がっているのが気になる点です。少しでも相談しやすい雰囲気、環境をつくってほしいと思います。 4. 資料の蔵書数が減少しているのが、残念です。 5. Webの時代に満足度が減少しているのが気になります。時代の一步先を行く新たな展開を期待しております。
評価	b	a	a
G委員	ゲートウェイの機能は、千代田図書館を利用しようとする人々の、まさしく「入り口」の役割だと思います。ユーザーの期待値を上げることで図書館の存在感が高まり、日比谷だけでなく、千代田の展示や斬新で画期的なテーマへの取り組み広報に期待しています。コロナ規制が解かれたことで、さらに踏み込んだ「メディア等の活用」を実現してほしいです。	セカンドオフィスの機能は、千代田図書館の優れた側面です。電源付シート、キャレル席の存在は千代田区で活動するビジネスパーソンや生涯学習を必要とする区民にとって有益な施設として、高く評価できます。コロナ後の利用率の伸びが利用者の需要拡大を示しています。受け皿としてのセカンドオフィス機能の拡充を、将来に向けて、更に期待します。	資料の貸出数の伸びは、環境好転の反映ですので、安心材料として受け止められます。Web図書館の利用件数を安定的に維持していく施策として、やはりコンテンツの充実（「質」面を中心に）を実行してほしいです。書齋としての「本業」の取り組みは千代田図書館の本領です。コロナ禍中でも、区民のナレッジに貢献いただいた努力は、高く評価したいです。
評価	b	b	b
H委員	ほとんどの指標で令和3年度実績を上回っていたことを評価します。今年度の実績は、コロナ禍が落ち着きつつある状況によるものともいえますが、それよりも図書館運営にかかわるすべての方々の努力の結果であると思っています。取り組み項目5について、年々拡大しつつある区内関係施設との連携企画数と、減少傾向の地域産業との連携企画数のバランスをどのようにとっていくかが今後の課題となると思います。	ほぼすべての指標で昨年度の実績を上回っている点はとても評価できます。昨年度の実績から急激に増加しているキャレル席・電源付閲覧席の利用件数をさらに伸ばしていくとともに、日比谷カレッジのさらなる充実と、特別研究室の認知度の拡大を期待します。また、指定管理者による「評価項目全体の自己評価」の最後の文章に書かれている「新しい機能」について積極的に検討していただきたいと思います。	全体的に前年度の実績を上回っています。また、四番町図書館の利用者満足度が目標を超えた実績となったことは職員の方々にとって大きな自信になったと思います。一方で、「区民の書齋」という評価項目名からすると、区民登録率が前年度の実績から大きく下がっている点が少し気になります。いろいろな要因があると思いますが、しっかりと分析をして次年度以降に生かしていただけることを期待しています。指定管理者による自己評価にも書いてある、限られた収蔵能力の中で利用者が望む資料を用意するための対応策の一つとして、千代田Web図書館をうまく活用していくことを挙げるすることができます。そのほかに挙げられていたいくつかの課題についても、今後どのように動いていくかを楽しみにしています。
評価	b	b	b
I委員	おおむね適切な運営がなされていると判断します。そのうえで、SNS、メールマガジン、情報誌・広報誌を含めて、図書館として、どのような媒体・方法で情報発信をしているのかがわかる一覧のようなものがウェブサイトのトップ画面等にあるとよいのではないかと思います（いまのところ、FacebookとYouTubeがあるのはトップ画面でわかるのですが、メールマガジンについては存在が区民・利用者に伝わりにくいように思います）。	おおむね適切に運営がなされていると判断します。コロナ禍以降、テレワークの導入など、働き方が変わりつつあるように感じます。こうした多様な働き方への対応として、例えば日比谷カレッジのハイブリッド（会場とオンラインの併用）実施など、可能な範囲で新たな手法の活用についても検討してほしいと思います。	おおむね適切な運営がなされていると判断します。千代田Web図書館については、特に不読率が高いと指摘される中・高生に対して、区内の公立・私立学校と連携しながら、より積極的に広報・利用促進を働きかけてほしいと思います。働きかけ方によっては、手元のスマホ等が読書のきっかけになることも可能でしょう。

	④ クリエイトする書庫	⑤ ファミリーフィールド	⑥ 管理運営等
評価	b	b	b
D 委員	コロナ下でありながら、特別展なども大変魅力的なものが実施されており、十分だと感じます。貴重な書籍も所蔵されており、今後の企画がさらに期待できます。	各小学校に司書を配置しており、他の地域と比べても読書指導により、本との親しみを深める努力は十分なされていると思います。	コロナ下ということもありますが、図書館としては十分に運営されてきたと思います。やはり、併設の飲食店等は図書館との融和性もあり、これから改善されていくと感じます。
評価	b	b	b
E 委員	一般図書展示回数は、事業計画に基づいて実施されており、四つの館ともに高い実績となつて点が評価できると考えます。また、特別展の入場者数も昨年度と同様の推移をしており、今後、日常が少しずつ戻ると思われますので、さらなる発展を期待しております。	「おはなし会」の実施も、新型コロナウイルス感染症が5類になったこと、ようやく通常に近い形で開催できるようになったことにより、参加者数も順調に伸びている点が評価できると考えます。また、ブックスタートに関しましては事業計画に沿って実施できている点が評価できると考えます。不読率が上昇傾向にあるように思われますが、児童・生徒に配布している一人一台端末の活用等も含め、今後も読書活動の推進に取り組んでいただきたいと思います。	職員の対応満足度が、例年並みの結果を得られたことは、評価すべき点だと考えます。平日頃から利用者の要望やご意見等に真摯に向き合い、丁寧な対応を心掛けていただき誠にありがとうございます。引き続き丁寧な対応をお願いいたします。また、合理的配慮に関しても、引き続きご対応をお願いいたします。障害の有無やLGBTQ等、多様な方々がいらっしゃり、要望も多方面に出てくることかと存じますが、こちらに関しても研修等とおし、職員の方々の対応力の向上を図れるようお願いいたします。
評価	b	b	a
F 委員	1. 報告に地域資料の受入れが出来ない時期があった、とはどういうことでしょうか。 2. モーニングセミナーの開催回数が昨年度の半分以下になっているのは、なぜでしょうか？ 3. 特別展の入場者数が横ばいのなか、満足度アンケートの数値が97.8%ととても高くなっているのは高評価です。 4. 5館中4館が蔵書回転率の目標値を達成しており、評価できます。日比谷カレッジと図書フロアの連携を強化することで更なるシナジーが得られると考えます。	1. 児童書の貸出数がトータルでは増加している点は高評価です。自動室、赤ちゃんルームの満足度が90%を超えることができた要因は何だったのでしょうか？ 2. 昨年に比べてブックリストの作成回数が大幅に増えている点はとても良いです。どのようにして回数を増やすことが出来たのでしょうか？ 3. おはなし会の実施回数、参加者数が回復しているのが良く分かります。また、おはなし会の満足度が100%というのは素晴らしいです。イベントも例年並みに開催出来ているようで、良いと思います。 4. 不読率を減少する新たな工夫が千代田図書館発として出来ると良いと思います。 5. 支援先での読み聞かせの数が大幅に増えているのは素晴らしいことです。それに伴い、相談件数も増えていることで成果が実感できます。	1. 入館者数を見ると大分回復傾向にあることが分かります。利用者の行動パターンが変化したなかで、どのような魅力を発信し図書館に足を運んでもらうか？図書館という施設の大きな課題であると考えます。 2. 職員対応満足度が全て90%以上というのは素晴らしいことです。維持継続して欲しいと思います。 3. 合理的配慮については、他館よりも進んだ千代田ならではの対応をして欲しいと思います。 4. 来客数が大幅に増えているのは、日頃からの工夫や努力のおかげだと感じます。 5. 視察件数が回復しているのは良いことです。また、実習生受入れ希望も多いため、難しいとは思いますが将来の図書館界のためにも受入れ人数の増加が出来ると良いと思います。
評価	b	b	a
G 委員	クリエイトの分野は日比谷の強みとしてデータ上でも如実です。日比谷の環境やスタッフの方々の英知が、クリエイティブな図書館を創り、発展を実現して下さっているのだと思います。8月3日の文化館見学会で、それを裏付ける専門員さんのガイドを受けることができました。日比谷を中心に、イベントに関連する図書（資料）への導きなど「仕掛け」を促進し、クリエイトのクオリティアップを期待します。	昨年度もコメントしましたが、子供（小中）の不読率低下の傾向はファミリーフィールドの大きな課題です。しかし、時代背景・環境から、急速に改善する可能性は低く、長期的な視座で取り組み、読書機会の向上を地道に企画していくことが、地域図書館の責任でもとを考えます。不読は過去からの大テーマなので、専門家やわれわれ一般からの意見に加え、当事者（子どもたち）からのヒアリングも必要です。	コロナ禍の運営を経験して、管理者としての多くの緊張を乗り越えていただき、区民として感謝しています。通常運営に戻つつある中、は職員満足度と、行政（文化振興課）との情報共有の充実が肝要だと考えます。千代田区の「知の拠点」づくりの担い手として、ご尽力をお願いします。
評価	b	b	b
H 委員	この評価項目の指標は、昨年度の実績との比較よりも、長期的な視点（複数年度の経年変化）で見えていった方がよいと思われるものが多いという印象を持っています。引き続き満足度の高い特別展の企画・実施を期待するとともに、指定管理者による自己評価にも書かれている、内務省委託本の研究会の活動、特別研究室の収蔵資料のガイドの作成といった活動の成果に期待しています。	個人的に、6つの評価項目の中で、コロナ禍が落ち着き始めたことによる実績の回復が感じられたのがこの「ファミリーフィールド」です。開催数や定員等を自粛していたおはなし会が通常に近い形で開催されるようになって参加者も喜んでいないでしょうか。また、児童資料関連の項目がコロナ禍の影響をそれほど受けていなかったことを把握できたこともよかったのではないでしょうか。学校支援司書と学校との連携によって、子ども読書調査における不読率の増加が減少することを強く期待しています。	各館の職員対応満足度が高かった点を評価したいと思います。職員対応満足度が高かったのは、職員の皆さんの接遇に対する高い意識と多岐にわたる要望・苦情に対する丁寧な対応が背景にあると考えています。コロナ禍の影響が薄れ、入館者数が回復してきました。そうすると、利用者に対応する機会もますます増えてくると思われます。多種多様なニーズを持った利用への対応は大変だと思いますが、職員の皆さんに助けられる利用者も多くいらっやいます。合理的配慮が必要なケースも含め、引き続き丁寧な対応をしていただくことを期待しています。
評価	b	b	a
I 委員	おおむね適切に運営がなされていると判断します。	おおむね適切に運営がなされていると判断します。コロナ禍による制約が大きい中で、子どもの読書推進に向けて熱心に取り組むを進めている様子がうかがえます。	高い職員対応満足度は高く評価できます。特に、昌平と神田では100%となっている点は特筆すべきでしょう。